

未来社会の柱となる 博士学生の育成を目指して

2022年度 教育革新シンポジウム

近年、キャリアパスに対する不安から、博士後期課程への進学者数及び進学率はいずれも減少傾向にあります。このような状況を打破するには、既存の研究室の枠組みを越えて、優秀な博士後期課程学生に対して社会で幅広く活躍するための多様なキャリアパスを整備していく必要があります。本学では、博士後期課程学生が学士課程学生の学びを支援し、教えることを通じて他者理解を深める教育プログラムの開発を計画しています。これにより、博士後期課程学生に、自らの適性を見極め、専門と社会の関わりを考える機会を提供します。本シンポジウムでは、今後の教育プログラム開発に向けての指針と、博士課程で習得することが期待される能力、未来社会で必要とされる汎用的スキルやマネジメント能力等について議論します。

2023.1.26 (木) 15:40-18:00

ハイフレックス開催・事前申込制

(東工大蔵前会館 ロイヤルブルーホール および Zoom ウェビナー)

2022年度 教育革新シンポジウム 未来社会の柱となる博士学生の育成を目指して

プログラム

15:40-15:45 ● 開会

15:45-15:55 ● シンポジウム趣旨説明

15:55-16:55 ● 講演セッション

大学院生を対象にした「教育に関する能力開発」は、プレFDまたはPFF(Preparing Future Faculty)と呼ばれ、研究大学を中心に多様なプログラムとして展開されています。講演セッションでは、国内外のプレFDに関して造詣が深い2名の研究者から解説いただくとともに、本学独自の大学院生を対象としたTA研修(GSA制度)の成果を報告いたします。

講演① 大学院生対象の段階的な大学教員養成機能に関する考察－米国研究大学から日本への示唆



吉良 直 KIRA Naoshi
東洋大学 文学部 教授

講演② Tokyo Tech's Graduate Student Assistant (GSA) Developer Program



CROSS J.Scott
東京工業大学 環境・社会理工学院 教授



CARLON May
東京工業大学 教育革新センター 特任専門員

講演③ 熊本大学が展開する教育改善スキル修得オンラインプログラムの紹介



喜多 敏博 KITA Toshihiro
熊本大学 教授システム学研究センター 教授

16:55-17:05 ● 休憩

17:05-17:55 ● パネルディスカッション

講演セッションの内容を踏まえ、今後の教育プログラム開発に向けての指針について議論します。また、博士課程で習得することが期待される能力、未来社会で必要とされる汎用的スキルやマネジメント能力等について、ご参加の皆様も交えて議論します。

パネリスト

喜多 敏博 KITA Toshihiro
CROSS J.Scott

吉良 直 KIRA Naoshi
CARLON May

モデレーター

加藤 由香里 KATO Yukari
東京工業大学 教育革新センター 教授

室田 真男 MUROTA Masao
東京工業大学 リバラルアーツ研究教育院 教授

17:55-18:00 ● 閉会

現地会場アクセス

東京工業大学蔵前会館 ロイヤルブルーホール
東京都目黒区大岡山 2-12-1
東急目黒線・大井町線 大岡山駅 下車徒歩1分



オンライン参加のご注意

本シンポジウムへのオンライン配信は、ビデオ会議システム Zoom のウェビナー機能を利用します。スマートフォンやタブレット、PC に Zoom アプリをインストールいただき、参加お申し込み後に届く確認メールに記載された URL よりご参加ください。

2022年度 教育革新シンポジウム 特設 Web ページ



最新の情報は随時更新しております。
現地参加・オンライン参加ともに
こちらのページよりお申し込みください。

<https://www.citl.titech.ac.jp/citlsympo2022/>

主催・お問い合わせ

東京工業大学 教育革新センター
Center for Innovative Teaching and Learning

〒152-8550 東京都目黒区大岡山 2-12-1 西9号館 212号室
TEL 03-5734-2993 (Mail Box W9-105)
FAX 03-5734-2994
E-mail citl_sympto@citl.titech.ac.jp